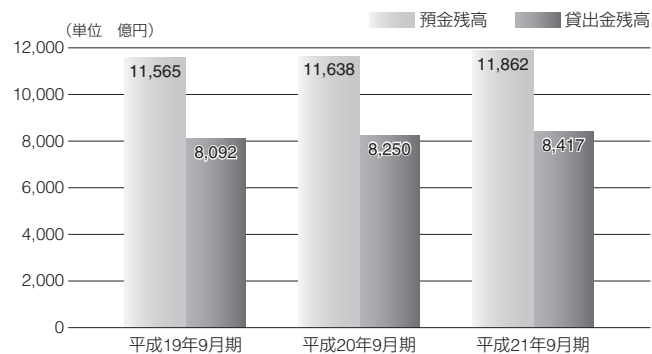


# 平成21年度中間決算ダイジェスト（単体）

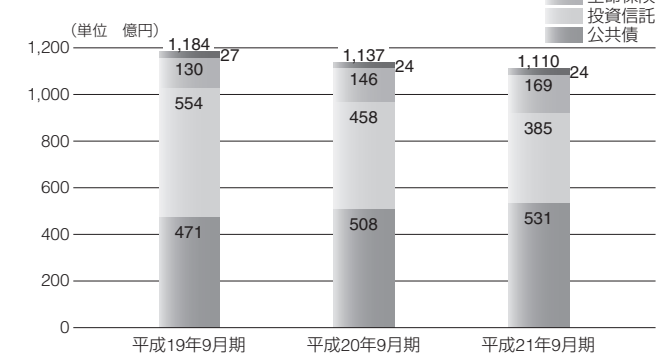
## 預金・貸出金残高



預金残高は、個人・法人預金ともに順調に増加し、前年同期比224億円増加の1兆1,862億円となりました。

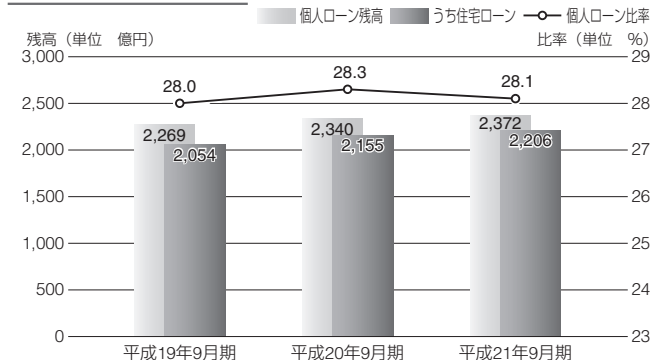
貸出金残高は、「緊急保証制度」を中心に事業者の皆さまの資金繰り円滑化に積極的に取り組み事業者向け貸出が大きく増加したほか、住宅ローンも順調に増加したことから前年同期比167億円増加し、8,417億円となりました。

## 預り資産残高



預り資産残高は、基準価額の下落により投資信託が減少したことから前年同期比27億円減少し、1,110億円となりました。

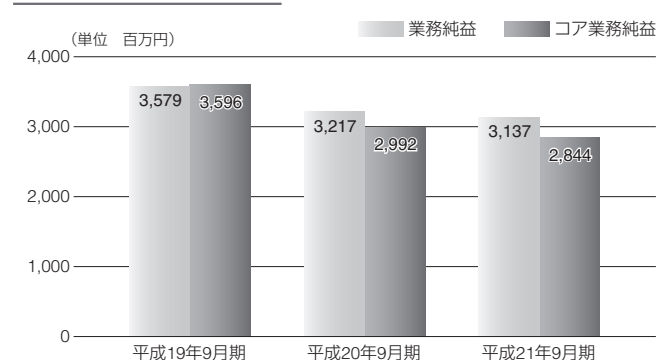
## 個人ローン残高・比率



個人ローン残高は、住宅資金ニーズに積極的にお応えし、前年同期比32億円増加の2,372億円となりました。

貸出金残高全体に占める個人ローン残高の割合は、28.1%です。

## 業務純益・コア業務純益

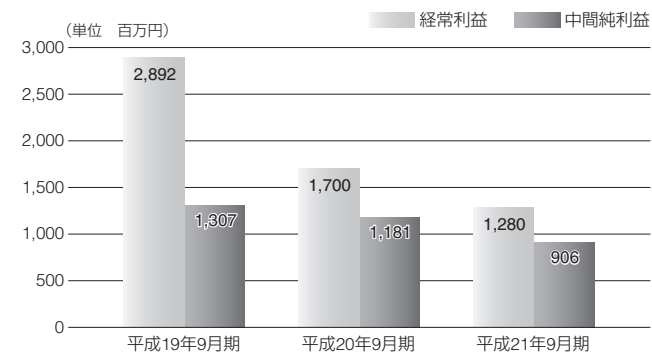


業務純益は、一般貸倒引当金の戻入超過額を特別利益に計上したことなどにより前年同期比80百万円減少し、31億37百万円となりました。

コア業務純益は、前年同期比1億48百万円減少し、28億44百万円となりました。

$$\begin{aligned} \text{業務純益} &= \text{業務粗利益} - \text{経費} - \text{一般貸倒引当金繰入額} \\ \text{コア業務純益} &= \text{業務純益} + \text{一般貸倒引当金繰入額} - \text{国債等債券損益} \end{aligned}$$

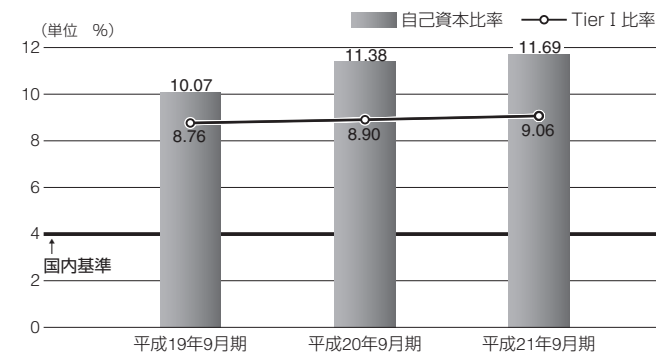
## 経常利益・中間純利益



経常利益は、業務純益の減少のほか、株式等関係損益の減少といった減益要因が、不良債権処理費用の減少などの増益要因を上回ったことにより4億20百万円減少し、12億80百万円となりました。

中間純利益は、過年度法人税等により税金費用が増加したため2億75百万円減少し、9億6百万円となりました。

## 自己資本比率・Tier I 比率



自己資本比率は、前年同期比0.31%上昇の11.69%となり、高い健全性を維持しております。

自己資本のうち基本的項目だけで計算したTier I 比率は9.06%であり、引続き十分な水準を維持しております。